

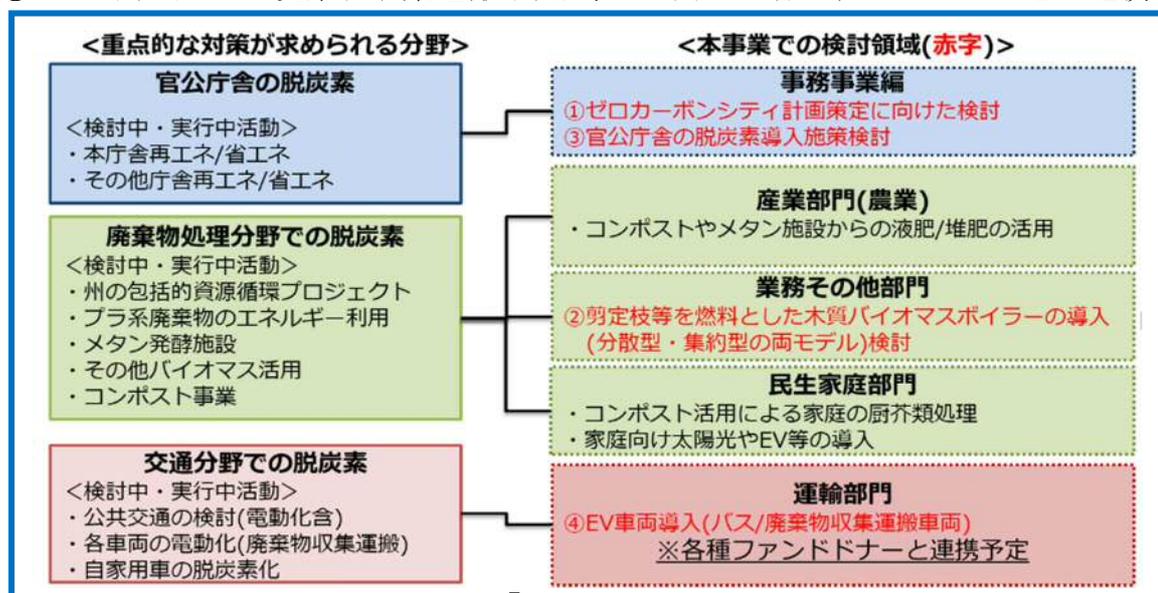
## パラオ共和国コロール州の脱炭素都市形成とコ・ベネフィット実現に向けた都市間連携事業

1 実施者 : 北九州市、(株)ATGREEN、(株)EV モーターズ・ジャパン  
アミタ(株)、(株)クアンド

### 2 事業概要

パラオ共和国コロール州におけるゼロ・カーボンシティの実現に向けて以下の項目の調査、検討および実現に向けた支援を実施する

- ① コロール州のゼロ・カーボンシティ宣言に向けた現状把握及び計画検討
- ② 州官公庁舎での脱炭素導入施策の検討
- ③ 木質バイオマスを活用した脱炭素化とコ・ベネフィット創出に向けたバイオマスボイラー導入可能性調査
- ④ EV 車両(バス・廃棄物収集運搬車両)導入に向けた各ファンドドナーとの連携



**都市間連携事業と連携しながら実現を目指すテーマ:州内のメンテナンス体制補強**

- ・マイクロネシアにおけるメンテナンス拠点整備の可能性検討
- ・人材育成プログラム
- ・リモートメンテナンス体制構築(クアンド社「SynQ」活用やプラントメーカーのリモート管理等)

### 3 パラオ共和国コロール州について



**【パラオ共和国】**

- ・首都：マルキョク（2006年コロールから遷都）
- ・人口：18,024人（2021年、世界銀行調べ）
- ・面積：488km<sup>2</sup>
- ・観光立国であり、2015年には観光客総数が161,931人に達した（内、日本人観光客数は31,016人）。

**【コロール州】**

- ・総人口の7割が居住する経済、文化の中心